

平成 29 年度事業報告書

特定非営利活動法人広野わいわいプロジェクト

1. 事業の成果

平成29年度における当法人の活動は、復興庁及び経済産業省の補助金を活用し定款にある町民と町外の人との賑わい交流事業並びに再生可能エネルギー利活用新事業を主に一年を通して活動した。

(1) 平成29年度被災者支援総合交付金(「心の復興」事業)「広野原笑顔サンサンプロジェクト」

震災から6年を経過し、広野町は今年3月にお隣いわき市内に点在していた仮設住宅での避難生活を終了し、殆どの避難者が帰還して町内2か所の災害公営住宅などに居住している。避難生活が長期化したことにより帰還先でのコミュニティに馴染めず、高齢者の多くは行動範囲が狭まり、地域交流にも積極的に参加できず、引き籠り的な生活を余儀なくされている。このような課題を本事業は、広野わいわいプロジェクトが取り組んでいるオーガニックコットン栽培、ひろの防災緑地の樹木管理、耕作放棄地を利活用した「笑顔サンサン農園」での農作物栽培などに参加して頂き、行政や他団体との連携を図り、既存の活動フィールドに災害公営住宅居住者を取込み、帰還者の生き甲斐創りや地域等交流の促進を目的として以下の2事業を実施した。

1) サンサン育てる生き甲斐事業

笑顔サンサン農園の農産物栽培において、災害公営住宅に住む独居、主に高齢者を中心とした方々で、共に農産物などを育てるという行為は、収穫の喜びや生き甲斐の共有となる。福祉施設等の交流イベントなどになかなか姿を見せない男性の高齢者を取り込み、主体的に活動するということで生き甲斐創りに寄与した。

2) 賑わい生業育てる交流事業

県外等のボランティアや地域住民の交流のため「ボランティアツアー活動交流会(主催)」を行い、農園で収穫した農産物を提供頂き、被災者を含む住民らで調理し提供し食を通じて交流するとか、地域の賑わい創りイベント「ひろのパークフェス(主催)」に農園で収穫した農産物を販売し、地域住民や交流人口との交流が促進され、引き籠り的な生活を打破し、生き甲斐を見出し、笑顔溢れ健康増進にも寄与し、生き生きとした地域創りに貢献出来た。

(2) 平成29年度「地域経済産業活性化対策費補助金(被災12市町村における地域のつながり支援事業)」「ふくしま広野エネルギーハーベスト未来創造交流事業」

5月25日に広野町に開設された、早稲田大学・ふくしま広野未来創造リサーチセンターを活用し、ふたば未来学園生徒と早稲田大学生との学びの交流の場にエネルギーハーベスト(環境発電)を題材とし、下記取組によって実現させ地域の人材育成に繋げた。

①エネルギーハーベスト(環境発電)講習会の開催

②PCプログラム講習の開催

③学習発表会の開催

当初計画した早稲田大学学生との交流は、参加高校生の旅費が認められず実施が不可能となったのが残念ではあるが、その代替えとして実施した交流イベントへの出展による地域住民とのエネルギーハーベスト技術ワークショップの交流は、参加した市民、教える側となった高校生にとってとても良い機会となった。

当初2回の講習会を予定していたが、技術を学び実践することを検討した結果、50分2コマ講習費を4回実施することになり、その準備を含め受託者の労務負担が大きな事業となった。しかし、その内容は学校側より絶賛され、多くの教師までが講習会に参加することになった。

受講する学生も次回の講習会をとっても楽しみにするようになり、エネルギーとロボット技術と言う福島県が地域再生に掲げる活動が、身近で楽しいものとして、人材育成に繋がる活動となったと考える。

ただ、実際にはスポット的な活動ではなく、もっと回数と時間を確保し実施できれば更に意義あるものとなると思う。

(3)町民と町外の人との交流事業

広野町のコットン畑及びひろの防災緑地に、主に首都圏のボランティアを受入れ、地域住民ともに除草などの管理作業を行い、交流会などで相互理解を深め、震災被災地の復興の一助に寄与した。

(4)オーガニックコットンの栽培・販売事業

津波被害地区の塩害などによる耕作放棄地を利活用して塩害に強いコットンを、オーガニック栽培を売りにし、被災地発信並びにコットン販売することで、震災原発事故の風評払拭に貢献したと考える。

(5)地場産品の6次化振興事業

広野産の特別栽培米を生地にした焼き菓子(ビスコッティ)の販売、女性の手仕事による広野町のイメージキャラクター「ひろぼー」をモチーフにしたクラフトテープで編み上げた「ひろぼーバスケット」を小物雑貨として各種イベントでの販売や行政来訪者へお土産品として販売し、広野町のPR並びに震災原発事故の風評払拭に貢献したと考える。

(6)都市公園・森の再生・維持管理事業

広野町太平洋沿岸にある「ひろの防災緑地」のうちの「Present Tree in ひろの」エリアの樹木について、枯渇・倒伏・管理杭状況確認・下草繁茂状況確認や清掃除草作業など年度を通して管理した。都市公園と位置付けられている「ひろの防災緑地」に森の再生を目的にして植樹した樹木の育樹管理をしたことで、樹木の生長・防災緑地の景観保持に貢献出来たと考える。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
町民と町外の人との賑わい交流事業	平成29年度被災者支援総合交付金(「心の復興」事業)「広野原笑顔サンサンプロジェクト」	平成29年8月1日～平成30年3月31日	広野町内他	15人	地域住民及び首都圏住民延べ3,100人	2,681
再生可能エネルギー利活用新事業	平成29年度「地域経済産業活性化対策費補助金(被災12市町村における地域のつながり支援事業)」「ふくしま広野エネルギーハーベスト未来創造交流事業」	平成29年7月1日～平成30年11月25日	広野町内	3人	地域住民80人	805
町民と町外の人との交流事業	ボランティアの受入、地域住民との交流会	平成29年4月1日～平成30年3月31日	広野町内他	15人	地域住民及び首都圏住民延べ300人	83
オーガニックコットンの栽培・販売事業	オーガニックコットン栽培管理とコットン販売	平成29年4月1日～平成30年3月31日	広野町内	15人	地域住民延べ100人	16
地場産品の6次化振興事業	6次化商品の開発と販売	平成29年4月1日～平成30年3月31日	広野町内他	15人	地域住民及び首都圏住民延べ400人	156
都市公園・森の再生・維持管理事業	「ひろの防災緑地」のうちの「present tree in ひろの」エリアの樹木育所管理	平成29年4月1日～平成30年3月31日	広野町内	15人	地域住民延べ100人	0

以上